

タイムスケジュール

9:30 受付開始

10:00 開会
講師及び参加者紹介・進行説明

10:15 調査・作業開始
1班：野外施設池再生隊
2班：たたら沢源流調査隊

12:00 昼食
アメリカザリガニ試食♪
(素揚げ・味噌汁)

13:00 調査結果取りまとめ・意見交換

14:00 調査結果報告・講評
講師：勝呂尚之研究員
(水産技術センター内水面試験場)

15:00 閉会・片付け

16:00 解散

丹沢大山ボランティアネットワーク 加盟団体

- ❖ 神奈川県勤労者山岳連盟
- ❖ NPO法人 みろく山の会
- ❖ NPO法人 かながわフィールドスタッフクラブ
- ❖ NPO法人 丹沢自然保護協会
- ❖ 横浜わらび山の会
- ❖ 神奈川県山岳連盟
- ❖ NPO法人 神奈川県自然保護協会
- ❖ 神ノ川ヒュッテ管理委員会
- ❖ NPO法人 北丹沢山岳センター
- ❖ グリーンタフ
(神奈川県自然観察指導員連絡会)
- ❖ NPO法人 自然塾丹沢ドン会
- ❖ 丹沢ゴミ調査会
- ❖ 丹沢ブナ党
- ❖ 丹沢「森の仲間たち」
- ❖ 蛭ヶ岳山荘委員会
- ❖ 山綾会
- ❖ NPO法人 四十八瀬川自然村
- ❖ 森友(しんゆう)
- ❖ 丹沢けものみちネットワーク
- ❖ 丹沢ネイチャーオフィス
- ❖ NPO法人 野生動物救護獣医師協会
神奈川支部
- ❖ 神奈川オオタカ保護連絡会
- ❖ かながわ野生動物サポートネットワーク
- ❖ 町田グlaus山の会
- ❖ ハローウエイズ
- ❖ NPO法人 伊勢原里山研究会
- ❖ 美登会
- ❖ NPO法人 神奈川ウォーターネットワーク
- ❖ 西丹沢の自然にふれあう会
- ❖ NPO法人 丹沢自然学校
- ❖ NPO法人 野生動物救護の会
- ❖ NPO法人 足柄丹沢の郷ネットワーク

丹沢大山 ^{in 七沢} ボラネット交流会



主催

丹沢大山ボランティアネットワーク

実施日

2011年10月29日(土)

会場

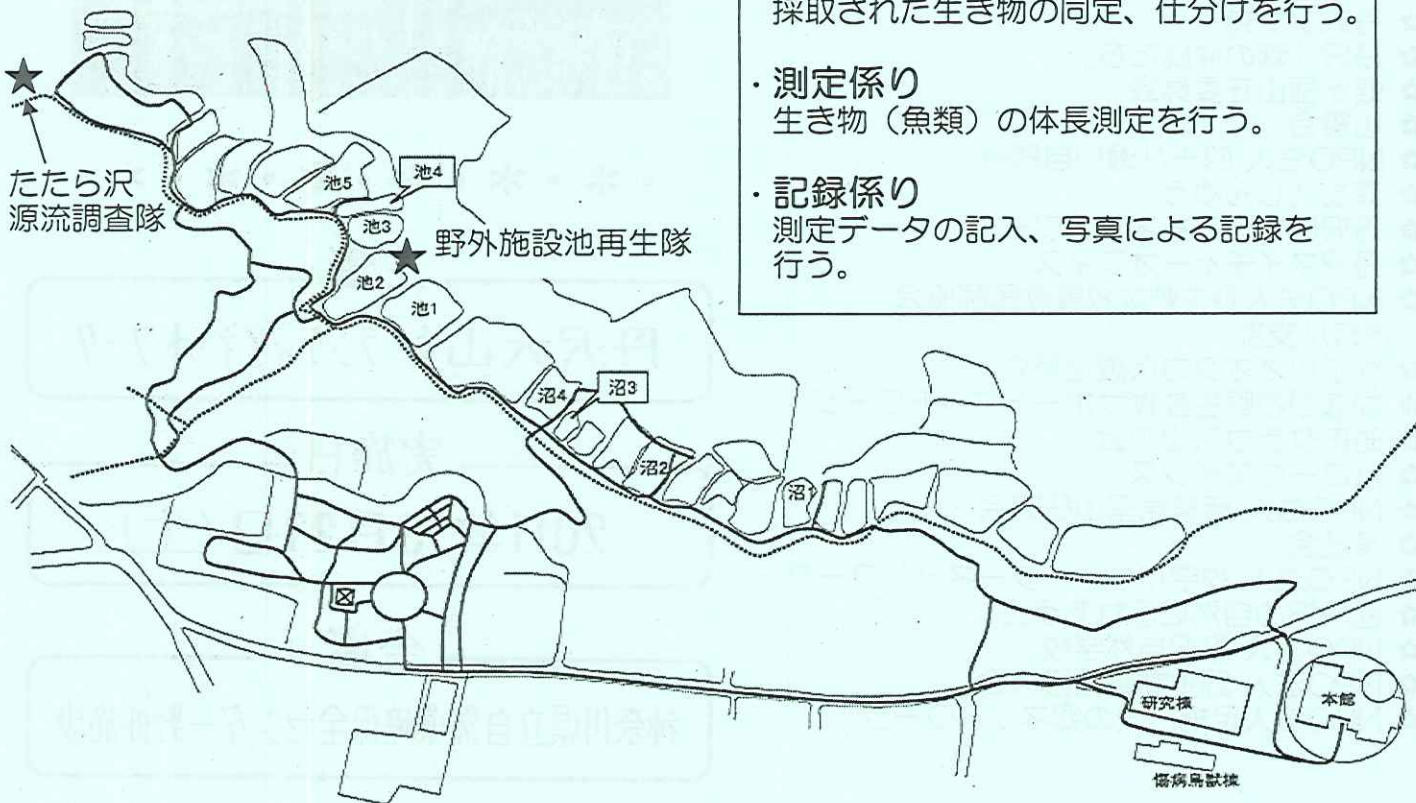
神奈川県立自然環境保全センター野外施設

メモ

活動目的

- ・丹沢大山ボランティアネットワーク会員団体の保全活動への参加を通じて、団体相互の交流を図る。
- ・厚木市七沢地区の里山の中に残された池で、水生植物や水生動物を調査し、生態系を記録するとともに、アメリカザリガニやコイによる在来種や生物の多様性に係わる影響について、中・長期的な視点で調査する。

野外施設マップ



活動内容

＜野外施設池再生隊＞

自然観察園内の池（池2）の生物調査を行う。水中や土中の生物を捕獲し、計測する。また、コイ、ブルーギル、アメリカザリガニは駆除する。

＜たたら沢源流調査隊＞

自然観察園内を流れる「たたら沢」の非公開エリアの生物調査を行う。

・採集係り

手網、又網などを用いて池、沢の生き物を採取する。

・仕分け係り

採取された生き物の同定、仕分けを行う。

・測定係り

生き物（魚類）の体長測定を行う。

・記録係り

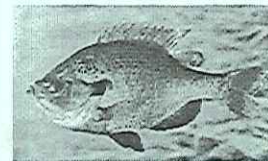
測定データの記入、写真による記録を行う。

ブルーギル

Lepomis macrochirus

スズキ目 サンフィッシュ科

原産：北アメリカ



湖や池など、水の流れがあまりない淡水域に生息する。雑食性で、水生昆虫・甲殻類・貝類小魚・魚卵などの小動物や水草を食べる。

1960年、現在の天皇がシカゴ市長から寄贈されたミシシッピ川水系原産の15尾を持ち帰り、水産庁淡水区水産研究所が食用研究対象として飼育したのち、1966年に静岡県の一碧湖に放流され、日本中に広がった。

保全センターでは1983年、自然観察園オープン時に野鳥の餌として導入された可能性がある。

アメリカザリガニ

Procambarus clarkii

エビ目 アメリカザリガニ科

原産：北アメリカ



水田、用水路、池など、水深が浅くて流れのゆるい泥底に生息する。雑食性で、何でも食べる。天敵はオオクチバス、ウシガエル、サギ類、イタチ、カメなど。

日本には、1927年、ウシガエルの餌用として神奈川県の実験養殖場に持ち込まれ、1960年頃には九州まで分布域を広げた。

保全センターでは、1990年に利用者によって放野され、以後全域に広がったと考えられる。